



【お知らせ掲載】

2019年5月27日
一般財団法人日本気象協会

日本気象協会、G20 新潟農業大臣会合に参加 ～各国の農業大臣に向けて、食品ロスの削減に関する取り組みを紹介～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、2019年5月11日（土）～12日（日）に新潟県新潟市の朱鷺メッセで開催された「G20 新潟農業大臣会合」に参加し、ブースを出展しました。

日本気象協会では「農業・食品分野の持続可能性に向けて ー新たな課題とグッドプラクティス」の全体テーマのもと、11日にはブースを訪問された日本の吉川農林水産大臣はじめとする各国の農業大臣に向けて、『商品需要予測事業』での食品ロス削減の実績を紹介しました。

日本気象協会は、閣僚宣言に盛り込まれた「FVCs*全体に渡る食品ロスを削減する」「気候変動の緩和と適応」を今後も率先して実施し、持続可能な社会を目指していきます。

※FVCs：Food Value Chain（フードバリューチェーン）の略。生産から食品製造・加工、流通、消費までの連鎖のこと。



【紹介内容（一部抜粋）】



【大臣への説明の様子】



日本気象協会の商品需要予測
「eco×ロジ プロジェクト」

「気象×データ」を使い高精度の予測情報をご提供することで、さまざまな企業の「製・配・販」活動の最適化をサポートし、「食品ロス削減」や「CO₂ 排出量削減」など地球環境の改善と維持に貢献することを目指し、2017年より開始している事業です。
また日本気象協会ではSDGs（持続可能な開発目標）を推進しており、農業分野では特に「12：つくる責任つかう責任」「13：気候変動に具体的な対策を」の課題解決を目指して活動しています。

◆G20 新潟農業大臣会合の概要

○G20 新潟農業大臣会合とは：

2019年 G20 サミットの開催にあわせて、日本が議長国として開催される関係閣僚会議の一つ

○日程：2019年5月11日（土）、12日（日）

○会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（新潟市中央区万代島 6-1）